

認知症初期集中支援事業（こうべオレンジチーム）令和元年度の活動から

1 相談件数・内容について

- ・相談対応件数 165 件（※平成 30 年度からの継続支援ケースは別途 47 件あり）。
- ・あんしんすこやかセンター（以後センター）からの相談件数が 141 件・85.5% を占める。
- ・165 件中 79 件は困難ケース（47%）。
（介入拒否・家族問題・8050 問題・ゴミ屋敷・DV・虐待・経済的問題・精神疾患の混在等これらの問題が複雑に絡んだケース）
- ・精神疾患高齢者の対応には苦慮している。
- ・センターからは医療につなげてほしいという依頼が多く、また複雑なケースについて一緒に考えてほしいという希望も多い。

2 把握ルートの拡大

(1) 市民からの相談に対応

認知症に関する電話総合相談窓口「こうべオレンジダイヤル」と一体的に運営し、相談者に対し必要に応じて初期集中支援チームが支援。

出前トーク等の説明会、アルツハイマーデーの街頭啓発などで「こうべオレンジダイヤル」の普及啓発を実施。

(2) 神戸モデルとの連携

診断助成制度の第 1 段階（認知機能検診）第 2 段階（認知機能精密検査）実施医療機関から相談を受けた場合も、必要に応じて、認知症初期集中支援チームが支援していくなど医療機関との連携強化を図る。

3 あんしんすこやかセンターへのアンケートの実施【集計中】

センター職員に対しアンケートを実施（令和 2 年 1 月～2 月）

（主な結果） 配布 381 人・回収 371 人（回収率 97%）

- ・利用目的（複数回答有り）
 - ①医療につなげる 78%
 - ②介護につなげる 47%
 - ③今後の支援を一緒に考える 46%
- ・相談しやすさ
相談しやすい・まあしやすい あわせて 93%
- ・利用しなかった理由（複数回答有り）
 - ①相談するケースがない 50%
 - ②相談するタイミングが分かりにくい 23%
 - ③どのようなケースを相談するかわかりにくい 17%

4 事例集の作成

- ・支援の活動の効果検証の一環として平成 30 年度の事例から、事例集を作成中。
- ・事例集を作成することで、自らの活動を振り返り支援の質の向上を図る。
- ・活動実践例をセンターをはじめ関係機関に広報して事業の利用促進を図る。